

戦 評 用 紙

16

男子・女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 コート 岡崎中央総合公園総合体育館 Bコート

<p>横浜創英</p> <hr/> <p>チーム名</p>	<p>32</p> <hr/> <p>総得点</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>18 — 10</p> <p>14 — 10</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>7mTC</p> </div>	<p>20</p> <hr/> <p>総得点</p>	<p>今治東中等教育</p> <hr/> <p>チーム名</p>
--------------------------------------	-----------------------------------	---	-----------------------------------	---

横浜創英のスローオフで試合開始。今治東は昨日の山陽戦のようにカットインや速攻など効率のよい得点を狙う。足をよく動かしマイボールにはするが横浜創英の戻りも早く得点に結びつかない。横浜創英は11番杉山15番高崎、4番座間のゴールで10分過ぎには7対3とリードする。今治東はタイムアウト後も連続退場もあって流れを変えることができない。3番月原、5番毛利のシュートで追い上げはするものの、前半終了直前にも7番グレイに決められ8点のビハインドを負う。後半に入っても終始横浜創英のペースで試合が進む。7番グレイ、14番鳩野のシュートで13点差まで広がるものの、中盤で横浜創英の得点がストップすると、今治東GK今村の好守もあり両者互角の戦いとなっていく。9番橋田が失格となったがボールをよくつなぎ横浜創英に食いついていった。試合終了直前の3番月原のキャプテンシーあふれるシュートが印象的であった。